令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立玉川小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	福島区
学　校　名	大阪市立玉川小学校
学 校 長 名	小坂　元彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

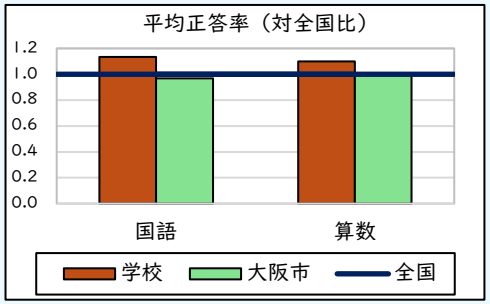
・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立玉川小学校では、第６学年　74名

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

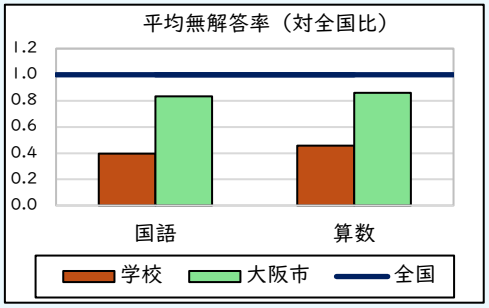
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	69	62
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



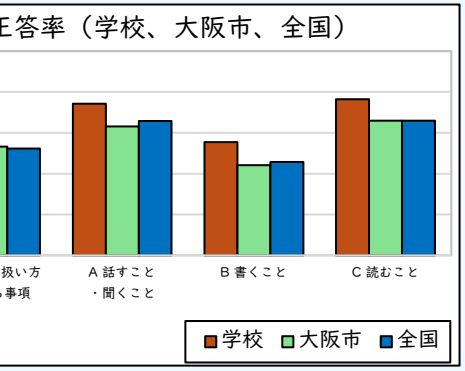
平均無解答率（%）

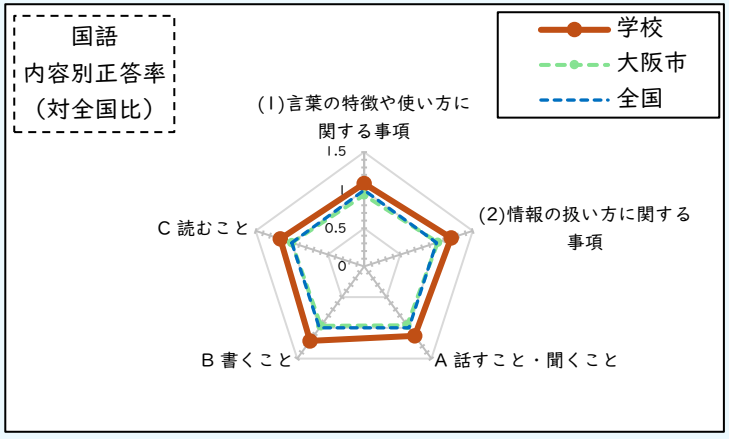
	国語	算数
学校	1.4	1.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

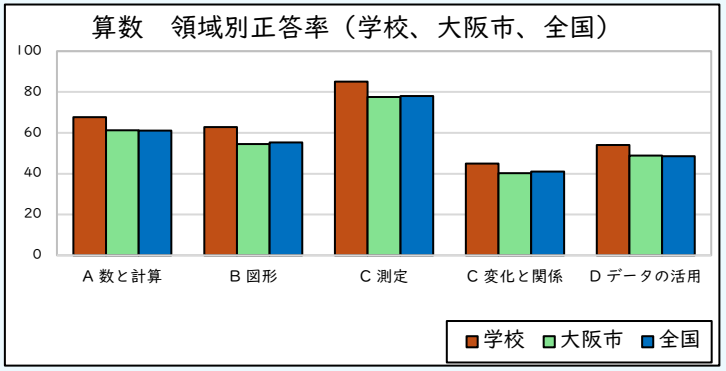
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	72.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	62.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	74.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	55.4	44.2	45.7
C 読むこと	2	76.4	66.0	65.9

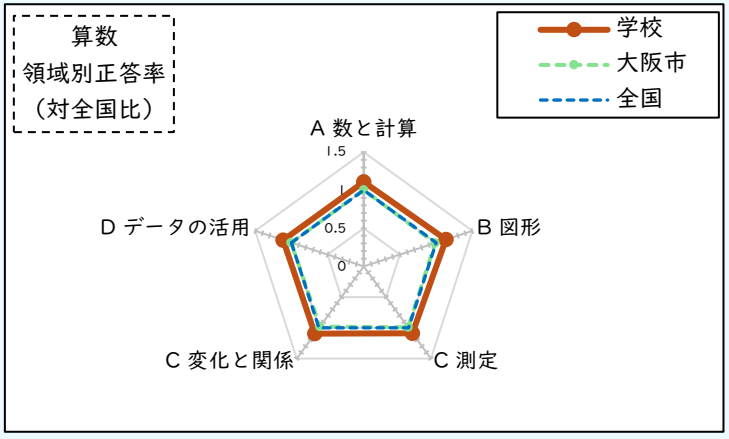




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	67.7	61.2	61.1
B 図形	4	62.8	54.5	55.3
C 測定	1	85.1	77.5	78.1
C 変化と関係	3	45.0	40.3	41.1
D データの活用	4	54.1	48.8	48.6

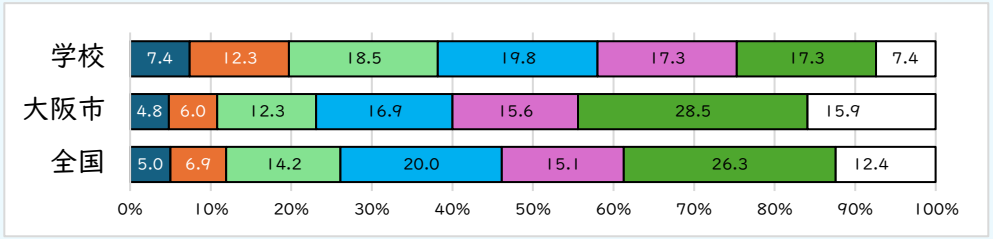




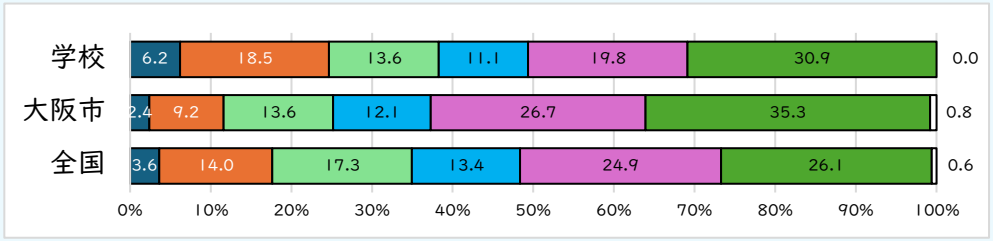
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

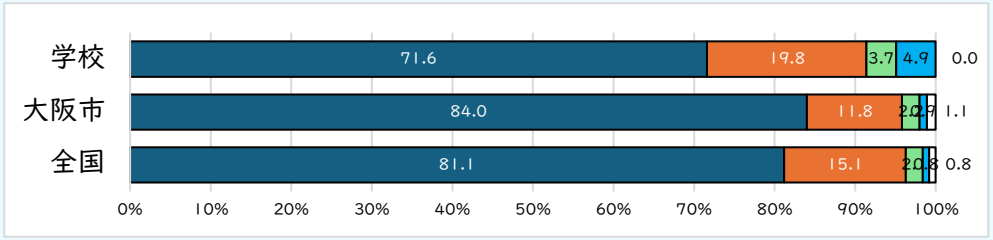
質問番号	質問事項
（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（２７）	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（１６）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（３９）	５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



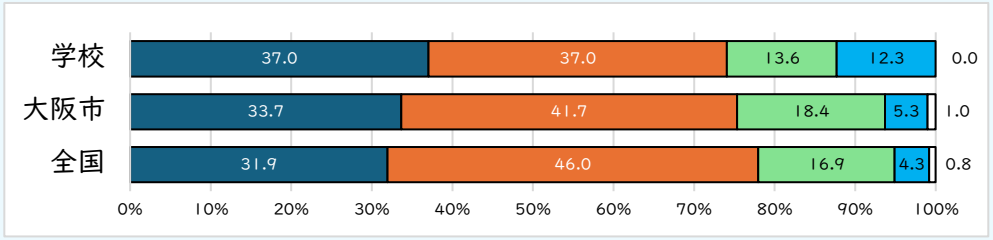
1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない



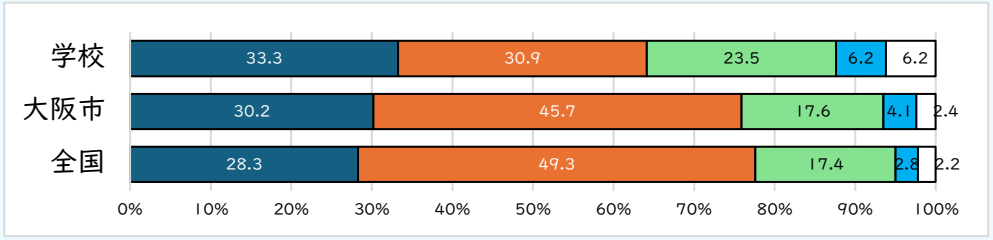
1 だいたい週に４回以上行く
2 週に１～３回程度行く
3 月に１～３回程度行く
4 年に数回程度行く
5 ほとんど行かない
6 全く行かない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立玉川小学校の結果概要

学校教育目標を「互いに認め合う子、自ら考える子、挑戦する子どもをはぐくむ」とし、目標に向かって積極的にチャレンジし、一人一人がのびのびと活動できる学校にするため、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を推進している。結果として、国語科、算数科のどちらの教科においても、全国平均および大阪府平均を上回る高い正答率を維持しており、全体的な学力は高い水準となった。

- 国語: 全国・大阪府平均を約８～１０ポイント上回る結果となった。
- 算数: 全国・大阪府平均を約６ポイント上回る結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

全体的に高い正答率を誇り、特に文章全体の構成や展開を考える力について、全国平均を16.4ポイント上回る高い成果がみられた。図などによる語句と語句との関係の表し方や情報との関係付けの理解においても、全国平均を大きく上回る成果となった。

課題としては記述式問題「集めた情報から抜き出して考えが伝わるように書く」とされた問題では、全問題の中で最も低い正答率（36.5%）であり、全国（33.5%）・大阪府平均（30.1%）は上回っているものの、自分の考えが伝わるように工夫して書く記述には課題がある。全体としても「書くこと」については昨年度より引き続きの課題である。国語科だけでなく、他の教科においても自分の考えを持ち、相手に伝わるように工夫して書く力を伸ばしていきたい。

【算数】

全体的に高い正答率を維持しており、全ての領域において全国・大阪府平均を大きく上回った。記述式の異分母の分数の大小関係を判断し根拠を記述する思考力については、全国平均を15.5ポイント大きく上回っている。

課題としては、二次元の表の複数の条件を読み解く情報処理に大きな課題があり、全国（17.9%）や大阪府（17.5%）を上回ってはいるものの、本校の算数全問題の中で最も低い正答率（18.9%）となった。また、割合の関係を図と結び付ける問題でも正答率が低く、日常生活の様々な場面において事象を数理的に捉え、数量の関係に着目して考察できるようにしたい。

質問調査より

生活習慣や学習意欲については多くの面において良好な傾向を示している。特に「学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の項目では1時間以上と回答する児童が19.7%と大阪市（10.8%）、全国（11.9%）と上回っている。また、「昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室にどれぐらい行きますか」では、週1回以上行くと回答する児童が24.7%と大阪市（11.6%）、全国（17.6%）を大きく上回った。図書の時間以外に朝の読書タイムや読書貯金通帳、毎日の図書館開放により読書習慣の定着が図られていることがうかがえる。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、当てはまると答えた児童は71.6%で大阪市（84.0%）、全国（81.1%）を下回った。また「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という項目についても大阪市・全国を下回っており課題が残る結果となった。

今後の取組（アクションプラン）

教科に関する調査では、どの領域においても十分定着しており、選択式・短答式・記述式問題への対応力も高い。これらの成果を活かしながら、国語・算数以外の教科においても、自分の考えを深め、相手や目的を意識して自分の考えが伝わるように表現を工夫できる力の育成へとつなげていくようにする。また、一人一人に応じたきめ細やかな支援を行い、基礎・基本の定着を継続して行っていく。

学校教育目標「互いに認め合う子、自ら考える子、挑戦する子どもをはぐくむ」ためにも、道徳や特別活動の時間を中心に全教育活動において相手の意見をしっかりと聞き、自分の考えを持ちながら、互いの意見を尊重することができる子どもたちをはぐくんでいく。

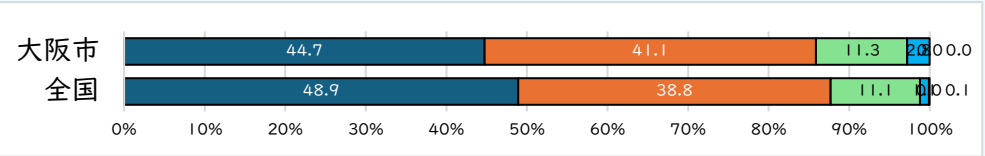
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

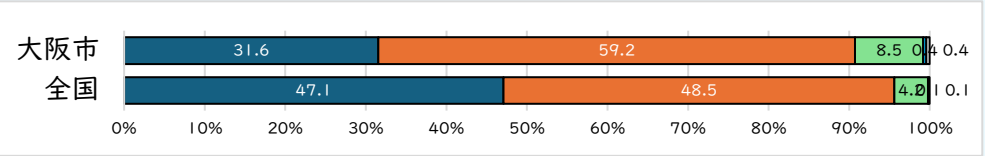
質問番号	質問事項
（38）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか
（40）	調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、児童一人一人がICT機器を活用することにより、探究の過程の質が向上することを意識した指導をしていますか
（70－1）	児童一人一人に配備された PC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（１）不登校児童に対する学習活動等の支援（（７０－２）の授業配信を含む）
（42）	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか

【学校の回答】　１　週１回程度、または、それ以上行った



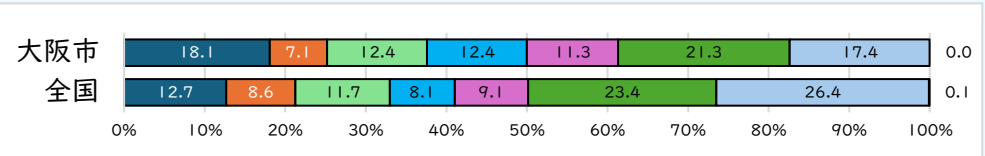
1 週１回程度、または、それ以上行った
2 月数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年数回程度行った
5 行わなかった

【学校の回答】　１　よくしている



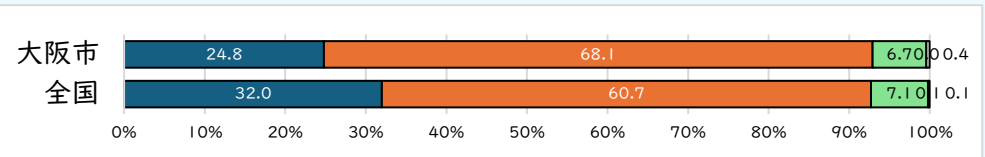
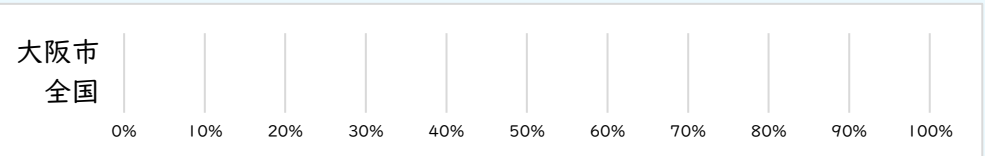
1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

【学校の回答】　１　ほぼ毎日



1 ほぼ毎日
2 週３回以上
3 週１回以上
4 月１回以上
5 月１回未満
6 活用していない
7 該当する児童がいない

【学校の回答】　２　どちらかといえば、している



1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない